

# 令和7年度第1回山形市上下水道事業経営等懇話会

## 【 会 議 録 】

日 時 : 令和7年7月4日(金) 午後2時00分～  
場 所 : 山形市上下水道施設管理センター3階 第一、第二研修室  
出席者 : 國方敬司委員、永井悟委員、松田直樹委員、工藤和久委員、石岡蘭子委員  
齋藤一美委員、須貝稔委員、山口範夫委員、石井圭子委員、鈴木淳子委員  
高橋梢委員、星野みち子委員  
上下水道事業管理者  
事務局 : 上下水道部長、総務課長、経営企画課長、業務課長、水道管路維持課長、  
水道建設課長、下水道建設課長、浄水政策課長、水運用センター所長、  
浄化センター所長、雨水施設建設室長  
経営企画課職員  
傍聴者 : なし

### <内容>

#### 1 開 会

#### 2 委嘱状交付

上下水道事業管理者から変更のあった委員へ委嘱状が交付された。

#### 3 上下水道事業管理者あいさつ

昨年度は主に上下水道事業の概要について説明させていただきました。昨今では、下水道の陥没事故や漏水事故などが全国的に起きています。また、水の安全性、主にPFASについての報道がされていることから、水道に関する注目度も高まってきているところです。今回は、特に広報活動についてお話をさせていただきます。昨年度、市の上下水道事業に関するアンケートを市民に対して実施しまして、そちらの結果等についてお話させていただきますので、様々なご意見を頂戴できればと思います。よろしくお願いいたします。

#### 4 事務局の紹介

#### 5 意見交換

##### (1) 上下水道事業 Web アンケート調査結果

##### (2) 上下水道部のホームページおよび広報の取り組み

##### ①令和6年度ホームページアクセスランキングについて

##### ②「なるほど上下水道ライフ」について

【座長】

それでは、意見交換に入ります。委員の皆様からのご意見・ご質問等については、事務局からの説明が全て終わりましたら、まとめてお受けする時間を取らせていただきます。

では、「(1) 上下水道事業 Web アンケート」および「(2) 上下水道事業のホームページおよび広報の取り組み」について、一括して事務局から説明をお願いいたします。

(1) (2) については資料に基づき事務局から説明。

【座長】

説明ありがとうございました。それでは、資料や説明についてご意見やご質問を賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

私は自宅近くの拠点給水所について知りませんでしたし、また、飲料水も備蓄しておりませんでした。私の記憶では、自分の家の水道が断水した覚えがなく、常に水がきちんと出ているということとはすごいものだと思います。

また、水道管や下水管の老朽化対策には、非常に苦勞されているのではないかと思います。

都市ガス事業も、常に導管の入れ替え工事が発生しています。導管の入れ替えでお金がなくなってしまうというのは、山形の都市ガス会社だけではなく、隣県も同じような悩みを抱えています。

資料 24 ページの「なぜ自治体によって水道料金が違うのか」というところを見ると、非常によく考察されていると感じました。構造はガス業界と一緒に、人口密度が少ないため、導管に対してお客様が付いている割合が低い。しかし、入れ替えは同じようにしなければなりません。また、大口利用者が少ないというところで、都市圏のガス会社とは異なるという悩みを抱えています。

水道管や下水道管の入れ替えを利用者の水道料金だけで賄うことは、限界かもしれません。各事業体でそういう悩みを抱えており、全国的に水道料金だけでは対応できないという状況になっているのではないのでしょうか。

そのような状況では、管の入れ替えが遅れるということにもなっていくわけです。その辺について、いろいろ知恵を出し合いながら進めていかなければならないのかもしれないかもしれません。山形市の水道料金は家計調査で一番高いとは言われていますが、もっと上げなければならないのではないかと考えてしまう部分もあります。

【委員】

アンケートについて、901人の回答者数の中で、拠点給水所の約33パーセントの認知度というのは高いように感じたのですが、どのような方法でアンケートを募ったのでしょうか。

また、アクセス数を稼ぎたいとのことで、管路の総延長がいくらで、50年前はいくらで、老朽化しているのは何パーセントで、耐震化が必要なのは何パーセントで、今後費用や期間はどれくらいかかるのかというようなデータがあれば見てみたい方は多いのではないのでしょうか。

最後に、水道料金は全国の県庁所在地の中で一番料金が高いということなのではないのでしょうか。料金に

関する説明として、例えば、管の総延長や耐震化の状況からすると、料金の割に充実しているなど示せば納得感を得られるのではないのでしょうか。

**【事務局】**

アンケートについては、ホームページで募集をかけましたが、ただ呼びかけても回答数が伸びないため、他の事業体でも同じように行っている方法で、抽選でクオカードを差し上げるというインセンティブ付きで実施したものであります。

また、全国の県庁所在地の中で一番料金が高いのかというご質問については、県庁所在地の中では8番目に高いです。県内では2番目に安いです。やはり、町村のようなところは人口密度も低く、料金が高くなる傾向があります。ただ、中核市や県庁所在地のようなある程度の都市規模のところと比較すると、相対的に山形市の料金は高くなってしまいます。

耐震化等については議会の度に答えていますが、一般的にはお伝えできていないので、広報を考えていきたいです。

**【委員】**

総延長のピークは来たのですか。

**【事務局】**

下水道については、令和4年にほぼ100%に近い数値で概成しています。水道についても拡張期は過ぎており、どちらも維持管理時代に突入しています。

**【委員】**

昨今、老朽化に伴って、漏水や陥没事故といったものがあり、住民の方が心配になっているかと思いますので、私どものような災害拠点病院や救急医療などになっている、社会的に非常に重要なインフラにおいては、災害時や通常でも、事故などが起きないような安定供給が重要だと思っています。

現在、老朽対策や地震対策などで、更新作業などをされているかと思いますが、重要なインフラに通じるようなところを、優先的に進めているのでしょうか。

**【事務局】**

いわゆる病院や避難所などの重要施設につながる水道・下水道に関しては、まず最重点的に整備を進め耐震化を図っていきます。それに関して、国の方でも補助していくと一定の方針を出していますので、市の方でも、上下水道耐震化計画というものを昨年度作成し、重要施設の病院や避難所などにつながるものについて、まず優先的に、上下水道一体で耐震化を進めていきます。

**【委員】**

ポケモンのマンホールが県の施設に設置されたところだと思いますが、マンホールカードや話題性のあるマンホールなどのPRを行うのもよいと思います。

【事務局】

山形市でも同様の取り組みとして、紅花と最上義光の２種類のマンホールがあり、マンホールカードを作成してます。最近配布した最上義光のマンホールカードは、広島などからもわざわざ来県された方もいます。

【委員】

先日、コミュニティバスに乗車していたら、マンホールカードをもらったという話が聞こえてきたので、こちらのマンホールカードを足掛かりにして、もっと水道事業を PR してもらえればと思います。

私は関西の方に住んでいたことがあって、浄水器を付けないと水道水を飲めないくらいで、浄水器をつけていても、お茶やコーヒーを入れるときは一度沸かしてから使用していました。山形に帰ってきてから、水道水を直接飲んでも、非常に甘みがあっておいしいと感じています。これからもおいしいと思える水づくりに取り組んでほしいです。

また、最近、イタリアでの PFAS 関連のニュースを見ました。市民が不安にならないように山形市としても引き続き状況を広報してほしいです。

最後に、農業用水について、町場の方が水道水をつかって育苗をすると費用が大変だと聞きます。

【事務局】

水道料金につきましては、将来的には山形市も料金値上げをしなければいけない時期が来ると考えております。皆さんのご意見を頂きながら、次の 100 年も持続可能な上下水道事業となるよう料金体系を考えていきたいと思っています。

【委員】

災害の広報に関連して、私たち管工事組合は、災害協定に基づき日本水道協会山形県支部より派遣要請があった場合は、スムーズに派遣できるように、今年度 6 月に災害対策委員会というもの設置しました。これから災害が発生したとき、随時・即刻、対応できるものを派遣し、応急修理できるように、努めていきたいと思っていますので、この場で共有させていただきます。

【委員】

気温が高く水需要が多いなかで、雨の降らない日が続いていますが、渇水などの可能性はあるのでしょうか。

【事務局】

今のところは問題ありません。

【委員】

PFAS や下水道の陥没事故が話題になっているが、市報での広報で分かりやすく現状を説明していただいているので、ネットで検索ができない世代には有効であると思います。

困りごととしては、水道に不具合があった際の対応してくれる業者一覧等を広報してほしいです。対応業務まで載せていただけると分かりやすく助かります。

【事務局】

水道・下水道の工事・修繕ができる業者については、市のHPの「水道指定給水装置工事事業者・指定下水道工事店一覧」でも広報しているので、ご覧いただければと思います。対応業務等についても掲載したいと思います。

【委員】

指定店であれば、パッキンの交換から、トイレのつまりまで、良心的な値段対応させていただくので気兼ねなくお電話いただければと思います。

【委員】

6月の上下水道部だよりでは、PFASの対応、特に検査回数を増やしたことの広報は安心につながるのでは良いと思います。また、鉛管の件も同様です。

浄水器を使うとPFASが除去できると聞きました。浄水器についての利点・欠点や、浄水器を通すと保存期間がどうなるかなど広報してほしいです。

また、これからも迅速に広報を行ってほしいと思います。

【事務局】

水道水は塩素消毒されているのですが、浄水器はそれが除去されるので、保存期間は短くなってしまいます。また、水道水でも衛生的な容器か、冷蔵庫の中で保管するかなども大きな要因となります。

PFAS、鉛の除去については、除去できるものもあれば、できないものもあります。目的に応じて使用いただければと思います。

【委員】

他県から来た学生には水道料金が高いということを言われますが、適正価格であり、将来に向けての施設整備費用等を賄うものなのだとこのところを、広報したらよいと思います。

【委員】

保育園は水が重要で、30分水を止めるだけでも保育に影響が出ます。最近PFASを除去できるという浄水器メーカーから営業が来るのですが、その際に市報で安全性を確認できたので助かりました。

バスツアーの対象が小学生までとなっていますが、感受性豊かな未就学児も対象にしてもらえれば、効果は親にまで波及すると思うので、ぜひ検討いただきたいです。また、幼少期の外部訪問は記憶にも残り、水道事業への関心も持ってもらいやすくなると思います。

【事務局】

親を対象にしたものは10月に実施予定ですが、安全性だけ確保できれば未就学児対応も可能かもしれません。検討させていただきます。

【委員】

山形市のふれあいバスをチャイルドシート持参で利用したこともあるので、ぜひ検討していただければと思います。

【事務局】

子供を対象にした事業は、広がりがあると思います。例えば、拠点給水所は学校に多いので、全校生徒に配布できれば親にも広がるのかなと思っております。

【委員】

バスツアーは子供だけでなく、大人も対象にしていいただければ婦人会等でも利用してもらえそうです。また、以前コミセンの見学ツアーで警察署に行ったのですが、スマートフォンに警察からの広報が届くように設定していただきました。

同じようにしていただけると、もっと広がりが出ると思います。

【座長】

皆様ご意見ありがとうございました。ぜひ、この場で出た話をそれぞれの組織で広めていただき、また、疑問等があれば、持ち寄っていただきたいと思います。それでは、その他ということで、事務局になにかありますでしょうか。

【事務局】

令和6年度の経営等懇話会においてご質問いただいた下水道のPFASについて報告します。

市浄化センターに流入する汚水と下水汚泥を製品化したコンポストについて、法的な基準等はないですが、自主的に調査いたしました。

汚水の結果は、分析する精度で正確に計測できる最小値を下回っております。

コンポストの結果に関しても、農水省の汚泥肥料を長期間使用した畑で生産された農作物を毎日食べても影響のない基準を大きく下回っております。今後も国の動向に注視しながら年1回の調査を継続してまいります。

【委員】

つまりは、こういったことが分かったのでしょうか。

【事務局】

コンポストを利用した畑からできた農作物を毎日食べても影響のない範囲の数値だということです。

【座長】

委員の皆様ありがとうございました。ほかにご意見等はございますでしょうか。

何もないようですので、意見交換を終了し、座長としての任を解かせていただきます。円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。

## 7 閉 会